

患者さんパンフレット

四国がんセンター
呼吸器科



私たち医療スタッフは

- I. 化学療法に対する不安を軽減し、最良の状態で
治療が受けられるようお手伝いいたします
- II. 治療後の苦痛や副作用を最小限にし、順調に回復され
安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします

DOC（60）療法を受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるよう、**患者さんご自身の目標**と**医療スタッフの目標**をあげています

入院は約2週間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます



化学療法を受けられる方へ

化学療法とは

「抗がん剤を使って、病巣や目に見えない全身のがん細胞を攻撃しておさえる方法」です

3～4週間に1回のペースで点滴を行います

初回（1クール目）は入院で点滴を行い、2クール目からは外来で行う予定です

点滴の時間は1時間30分程度の予定です

抗がん剤の投与時期や量は、患者さんの体調や検査結果によって変更されることもあります

※治療前には血液検査を必ず行います



入院中の生活の注意点

- ◆感染予防のためにマスクを着用し、手洗いうがいをしましょう
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら我慢をせずにトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください

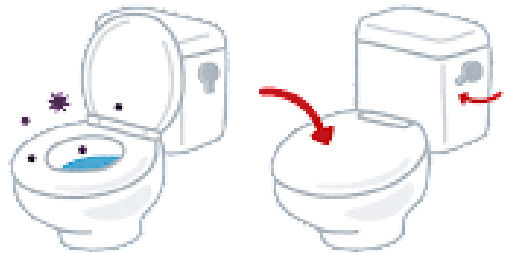


- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます。尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・男性の方は飛び散り防止のため、
座って排尿しましょう



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう



- ・トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を2回流しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう



今日の目標

- ・治療の必要性、副作用について理解できる
- ・医療スタッフの説明が理解できる

<時間>

<予定>

11:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】
12:00	昼食	・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・禁煙の確認 ・歯科受診 ・血液検査、尿検査 ・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください ・栄養士より病院食や食事の工夫について、説明があります
		わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください <お薬> ・他の病院で処方された薬については、一度お預かりし医師に確認後、続けるか中止するかをお伝えします <食事> ・食物アレルギーのある方は、医療スタッフにお知らせください ・特に制限はありません ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります
18:00	夕食	
21:30	消灯	



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・安心して治療が受けられるよう支援します





今日の目標

- 安全に治療を受けることができる
- 治療の副作用について理解できる
- 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食
	過敏症、点滴部位の痛み・血管痛、吐き気・嘔吐、便秘、下痢 について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
12:00	昼食
	※治療の予定については服薬指導の紙をご覧ください
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯



点滴開始後はフタをして
水を2回流しましょう

- 点滴中は、トイレなどの歩行時、転倒に注意しましょう
- 点滴台を支えにして歩くと転倒の可能性があります
支えにしないようにしましょう

- 点滴中は、副作用を早期に発見するために付き添ったり、頻回に訪室します
- 息が苦しい、咳が出る、ドキドキする、体が熱いときなどは、すぐに知らせてください
- 針の入っているところが赤くなった、腫れた、痛いときなどはすぐに看護師へ知らせてください
- 点滴のもれを防ぐために看護師が身の回りのことをお手伝いします

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・治療の副作用について理解できる
- ・副作用症状のコントロールができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

- ・針の入っていたところが赤くなった、腫れた、痛いときなどはすぐに看護師へ知らせてください
- ・便が出にくいときは、緩下剤を調節しながら服用しましょう

治療2日目：脱毛、味覚障害・食欲不振

治療3日目：倦怠感、関節痛・筋肉痛、神経障害について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」のパンフレット参照

「関節痛・筋肉痛、爪の障害」のページ参照

12:00

昼食

活動の制限はありません
シャワー浴ができます



18:00

夕食

21:30

消灯



フタをして水を
2回流しましょう

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・治療の副作用について理解できる
- ・副作用症状のコントロールができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

便が出にくいときは、
緩下剤を調節しながら
服用しましょう

活動の制限はありません
シャワー浴ができます



治療4日目：皮膚障害、爪の障害、浮腫（むくみ）

治療5日目：口内炎

治療6日目：息切れ・動悸

治療7日目：脱毛

について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」のパンフレット参照

18:00

夕食

21:30

消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます



治療8日目 月 日



今日の目標

- 日常生活の注意点について理解できる
- 副作用症状のコントロールができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

9:30

血液検査・胸部レントゲン検査

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

18:00

夕食

21:30

消灯

便が出にくいときは、
緩下剤を調節しながら
服用しましょう

活動の制限はありません
シャワー浴ができます



血液検査の結果と、**骨髄毒性**について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

感染予防のために手洗い・うがいは
しっかりしましょう

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 退院の準備をすすめられるよう支援します



退院準備期

治療9～14日目

月

日～

月

日



今日の目標

- ・退院後の日常生活について理解できる
- ・副作用症状のコントロールができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

9:30

血液検査・レントゲン検査（治療14日目）

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

便が出にくいときは、
緩下剤を調節しながら
服用しましょう

活動の制限はありません
シャワー浴ができます



通院治療室についての説明と見学を行います
「外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ」のページ参照

退院後の日常生活について説明をします
「退院後の日常生活について」のページ参照

18:00

夕食

21:30

消灯

感染予防のために手洗い・うがいは
しっかりしましょう

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院の準備をすすめられるよう支援します



退院日 月 日



今日の目標
・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします
2階窓口で支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください

お預かりしている薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

※通院治療室に行かれるときにはこのパンフレットをお持ちください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安や心配ごとがないよう支援します



「暖だん」では、
脱毛や爪障害に関連した製品を展示しています



ウィッグ製品展示室で、定期的に協力メーカーのアドバイザーによる相談会を開催しています

がん治療による脱毛や爪傷害に関連した製品の試着もできます

お気軽にお越しください



アドバイザーによる相談会の開催日は
医療スタッフにご確認ください



● 関節痛・筋肉痛

ドセタキセルの特徴的な副作用です

1. 定義

筋肉や関節に痛みが生じることをいいます

2. 筋肉痛・関節痛の時期

投与後3～5日後に症状が現れ、症状のほとんどが一時的なもので、数日以内におさまってきます

3. 症状

腰や腕、背中や肩の筋肉に痛みを感じたり、ひざ・ひじの 関節などに痛みを感じる場合があります

4. 治療方法

つらいと感じるときは、痛み止めの薬（内服や湿布）を使用して症状の軽減をはかります

5. 予防方法（日常生活の注意点）

- 入浴などで体を温めたり、適度なマッサージで筋肉をほぐし、血行を促進してみましょう
- 同じ姿勢でいると筋肉や骨の萎縮をまねきやすいので、無理のない適度な運動を心がけると良いでしょう



●爪の障害

1. 定義

抗がん剤により皮膚の乾燥が強くなったり、爪の発育に影響を及ぼしたりすることで、爪の変形が生じやすくなることです

2. 症状

爪の変形：凸凹、亀裂、変色、二枚爪などが起こることがあります

症状は抗がん剤治療開始後、2から3クール目以降に出現することがあります

3. 対策と日常生活の注意点

- 乾燥すると爪が割れやすくなるので、ハンドクリームなどの保湿クリームを爪や爪の周りに塗りましょう
- マニキュア等も活用しましょう
爪の変色をカバーするとともに、もろくなった爪を保護してくれる役割があります
※爪が変色している時はマニキュアを重ね塗りをするとより目立ちにくくなりますが、1週間に1回は清潔の保持と爪の観察のため一度落として塗り直しをしましょう
※爪の表面が凸凹していると引っかかり、傷つけやすくなりますのでマニキュアやベースコートを塗ることで、ひび割れなどから爪を守ることができます
- 爪が白くなって浮いてくることがあります
手袋の着用やテープでの保護など日常生活に合わせて使用しましょう
(テープ保護の必用な場合は看護師がお伝えします)
- 爪に亀裂が入ったり変形している時は気づかぬうちに引っ掛けて、爪がはがれてしまうことがあります
爪は伸ばしすぎないようにしましょう
- 爪切りで切ると爪が割れやすくなるので、爪専用のやすり（ネイルファイル）を使う方が良いでしょう
お風呂あがりなど、爪が柔らかいときに行いましょう

●爪の切り方《写真参照》

爪の角（黄色い○印）の部分皮膚の先の長さまで伸ばし、四角い形に切りそろえます



爪の角を切りすぎると深爪により炎症を起こしやすいので注意！

- 爪の周りが痛んだり、腫れや浸出液のあるときにはマニキュア等は避け、看護師や主治医に相談しましょう

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

①受付



Bブロック

②採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血場所や注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血してもらってください



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③診察受付

A、B、C、S各ブロック

Aブロック

Bブロック

Cブロック

Sブロック

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
精神腫瘍科
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④診察

乳腺科
婦人科
形成・再建皮膚腫瘍外科
頭頸科・甲状腺腫瘍科

消化器科
糖尿内科
循環器科
皮膚科
眼科
リンパ浮腫

治療決定

Sブロック

⑤治療
通院治療室

外来では、
看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

他の診療科で診察のある方は、各診療科受付へ

予約センターは
B受付の隣です



⑥会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

会計終了後に処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行いますので、少しお時間を頂きます。
- ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料でご利用できます。また、ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。但し、ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- ご家族の待機場所は、「暖だん」や「図書コーナー」などがありますのでご利用ください。必要時には、付き添うこともできます。
- 副作用や日常生活で困っていることなど、相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。



退院後の日常生活について

●食事

特に制限はありません

バランスの良い食事を心がけましょう

食欲がないときは、無理をせず、食べやすいものを食べられるときにとるようにしましょう



白血球が減少している時期は、残り物、賞味期限切れの物を召し上がらないようにご注意ください

●お薬

医師の指示どおりに服用しましょう



●活動

特に制限はありません

白血球が減少している期間は、風邪をひきやすかったり熱が出やすいため、外出時マスクを着用しましょう

外出や買い物は比較的人ごみの少ない朝の早い時間をお勧めします

●清潔

皮膚に付着している常在菌を減らすために、可能な限り毎日入浴やシャワー浴をし、体を清潔にしておきましょう

（ただし、発熱時やだるさが強い場合は控え、温かいタオルなどで体を拭くようにしましょう）

うがい・歯磨きをして口の中を清潔に保ちましょう

歯ぐきの傷つきを防止するため、歯ブラシは小さく毛の柔らかいものを使いましょう

●排泄

規則的な排便習慣を身につけるようにしましょう

便秘のときは処方便秘薬を調整して服用してください

処方されていないときは市販便秘薬を服用してもかまいません

（下痢になったら下剤は中止しましょう）

下痢のときは市販の整腸剤を服用してもかまいません

●その他

外来受診は、必ず受けるようにしましょう

外見の変化（脱毛、爪、皮膚のくすみなど）に関して気になることがあれば、患者・家族総合支援センター「暖だん」で情報をご用意してますので、お気軽にお立ち寄りください

ドセタキセル投与後、皮膚のかゆみや湿疹が出ることがあります

かゆみや赤みが強いときは近くの皮膚科を受診するか、がん相談支援センターにご相談ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



- 37.5℃以上の発熱が続いて、体がしんどいとき
- 食事や水分が、ほとんどとれなくなったとき
- 息苦しさや咳が続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8：30～17：15
(直通番号) 089-999-1112



DOC（60）療法を受けられる方へ